

活き生きTUMA

TUMA

つま



平成27年度 活き生きTUMA協議会総会が開かれる

今年も5月13日(水)に、大野隣保館において、活き生きTUMA協議会の総会が開かれた。「まちづくりの目指すもの」とは、「活き生きTUMA」とは、それを考える出発点である。「そんな会があるとは知らなかった」という声を聞かたび落ち込むメンバーだが、やはり、まちづくりを通して、人と人とは繋がって助け合わなければならないと考える。だからがんばろう。



笑顔で出会える場を作り、心と心が繋がることを目指しています。いろいろな行事等に進んでご参加下さい。

活動計画

- 【全体会】**
 - ◆天神池に鯉のぼりを揚げよう(4/25~5/9)
 - ◆都麻乃郷あじさいまつり(6/21)
 - ◆西脇子午線マラソン「へその市」出店
- 【文化体育部会】**
 - ◆八日山つつじ花見登山
 - ◆都麻の郷ウォークラリー
 - ◆八日山登山道整備
- 【あじさいクラブ】**
 - ◆あじさい苗の育成・栽培
- 【喫茶部】**
 - ◆みんなが集う。交流の場づくり
(本年度から計画・立案。実践に向けて出発)
- 【広報研修部会】**
 - ◆広報誌「活き生きTUMA」発行(年3回)
 - ◆講演会
- 【生活環境部会】**
 - ◆クリーン作戦 ◆防災講習会

平成27年度 津万地区の区長(会長)さん方です

- | | |
|------------------------|-------------|
| (下戸田) 徳岡 武義 (津万地区代表区長) | |
| (上野) 前田 博夫 | (西嶋) 藤井 邦彦 |
| (上丘町) 山口 實 | (蒲江) 藤井 照通 |
| (上戸田) 高岡 利幸 | (西脇蒲江住宅) |
| (津万) 徳岡多加志 | 中山 太一 |
| (嶋) 岡澤 修 | (坂本) 宮崎 博行 |
| (大垣内) 稲垣 研二 | (大野) 早崎 忠志 |
| (寺内) 笹倉 忠三 | (八日町) 平木 清美 |

活き生きTUMA協議会役員

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 〈会長〉 徳岡 武義 | 〈副会長〉 岸本 信子 |
| 〈事務局長〉 藤原 邦夫 (あじさいクラブ代表) | |
| 〈会計〉 高岡 吉和 | |
| 〈広報研修部部長〉 川口美恵子 | 〈副部長〉 藤井 照通 |
| 〈生活環境部部長〉 足立 秋男 | 〈副部長〉 早崎 忠志 |
| 〈文化体育部部長〉 高岡 吉和 | 〈副部長〉 白井 茂樹 |
| 〈交流喫茶部部長〉 村岡 和夫 | 〈副部長〉 笹倉智津子 |
| 〈監査〉 宮崎 博行 徳岡多加志 | |

活き生きTUMA協議会の新しい役員の方皆さんです



会長 徳岡 武義

津万地区の皆さんには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。「いくつになっても今が旬」こんな言葉があります。私たちは、今この時この瞬間を生き、その積み重ねが人生。だから若い時も年を経ても、今この時が最も良い時。いくつになっても今が旬なのです。いつも今この時を輝いて生きていたいものです。

西脇市の教育の指針に
・今、この時を輝いて生きる
・次世代をつなく、心豊かな人づくりまちづくり
津万地区の皆さん、一緒に輝いてみませんか。いろいろな活動を通して人との出会いは、楽しいですよ。魅力あるまちを一緒に作りませんか。

最近西脇市では、地域のまちづくりボランティアが少なくなっているようです。私はいい機会をいただいたと思っています。皆さんと共に積極的に各行事に参加しようと思っています。自分が輝くことがまちづくり、そうすれば「活き生きTUMA」もきっと輝くことでしょう。

みんなで盛り上げていきましょう。よろしくお願いします。



生活環境部部長 足立 秋男

小澤部長よりひよんなことから重責を引き継ぐことになりました。よろしくお願いたします。

生活環境部としての活動は、前年度とあまり変わらないと思いますが、新しい津万地区のまちづくりをするには、一人、二人の力ではどうにもなりません。25年度より取り組まれているあじさい園の維持管理作業のボランティアのように、多くの協力があれば、素晴らしいまちづくりが進められると思います。生活環境部の事業を通じて、ボランティア活動への参加者が増えることを願って取り組みたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。



生活環境部副部長 早崎 忠志

Uターン組です。よろしく！
私は高齢の親と同居するため、Uターンしてきました。老後は故郷でのんびりと平穏に過ごしたいと思っています。

この度、活き生きTUMAとのご縁を頂き、地域の方々との交流の輪を広げる機会を得ました。これからは地域に少しでもお役に立てるよう、できるだけ活動に参加していきます。

お役に立てるところが、足手まといになると思いますが、よろしくお願いします。



交流喫茶部部長 村岡 和夫

長い区長の任期が終わりホッとしていると、活き生きTUMAの役員さんから「新しくできるカフェ部の責任者」へとオファーがあり、「津万地区には皆さんが気軽に集まって、お茶を飲み、世間話をする所がないので、活き生きTUMAで作りたい」という趣旨に賛同して引き受けました。役員全員で話し合い、西林寺にお願いに行きました。何度か話し合いの末、あじさい園の入り口に場所が決まりました。

春は桜、初夏はあじさい、秋は紅葉、四季折々の季節感あふれる西林寺は、津万地区の心のふるさとでもあります。そんな由緒ある場所に、交流喫茶「TUMAこいカフェ」が建設され、津万地区住民の



交流喫茶部副部長 笹倉 智津子

「津万地域にコミュニケーションの場を更に広げたい」との熱い思いの中、西林寺あじさい園に「TUMAこいカフェ」を、今秋オープン目指しスタッフ一同準備にとりかかっています。この喫茶を津万地域の「憩いの場」として、また、観光スポットの一つとして、多くの方に来ていただきたいとの思いでいっぱいです。

新たなまちづくり「TUMAこいカフェ」に力をお貸し下さる「ボランティアスタッフを募ります。一緒に楽しく有意義なひと時をすごしませんか。私自身、多くの方々との「お出会い」や「ふれあい」を、胸躍らせながらお待ちしております。皆さんと共に、津万を住み良い元気な町にしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



文化体育部副部長 白井 茂樹

私は平成27年度総会にて、文化体育部副部長に選任されました白井です。生まれは津万地区(上戸田)ですが、高校卒業後この地を離れて久しく、昨年7月よりUターンしてまいりました。

さすが、地域の風景は少しずつ変化しており、知り合いは町内の方を除きごくわずかです。Uターンに際し、少しばかりの田畑で農業を始めることは決めておりました。しかしこれとても年中忙しいわけではなく、何かできないか考えておりましたところ、町内代表として「活き生きTUMA」の活動に参加し、その後平成27年度総会にて、文化体育部副部長に選任されました。

人生はすでに第4コーナを回っておりますが、日々の時間はそれに反比例して長く感じられます。先ず自分のために知り合いの輪を広げ、活き生きTUMAの活動を通じ、結果的に少しでも皆さんのお役に立つことができれば幸いです。



監査 宮崎 博行



監査 徳岡 多加志

各町の区長さん方と活き生きTUMA協議会の連携をスムーズにし、より良いまちづくりができることを願ってがんばります。

この人 紹介します



八日山の頂上からは私たちの住んでいる津万地域や西脇の市内が遠くまで見渡すことができる。また5月のつつじの季節をはじめ、1年間を通じて多くの子どもたちを含む人々が、この里山に登っている。

今回、この八日山登山道を作ることに、最初から関わってきた上野里山保存会代表の高瀬隆雄さん。また、生き生きTUMAのメンバーとしても、八日山の登山道整備に携わって活動。その高瀬さんに、初めて登山道整備に向かったきっかけや、長年の苦労や思い、喜びを、今語ってもらうことができた。

津万の富士山八日山 高瀬隆雄

山の緑が日ごとに色濃くなってきた。山の頂上には、今年も鯉のぼりが元気よく泳いでいる。子どもの頃の思い出と言えば、八日山で遊んだことである。西面の中腹に昔の石切り場跡の広場があり、「森の広場」と名付けている。その頃の絶好の遊び場であった。現在の太池登山口から、木も草もない岩場を直登約十分もあれば登れたものだ。



八年程前、「兵庫森の倶楽部」に加入し、各地で多数の森林ボランティアと共に活動、放置された里山が見る見るうちに甦っていきすばらしい体験をした。平成18年八日山整備のそもそものきっかけであった。そこは、文字通り「里山放置林」そのもの。現在トレッキングコースとなっているトレイルは、六十数年前、我々の祖先が、薪炭調達のため利用した山路である。一番苦労したのは、この道を探すことであった。時には、シダの生い茂った谷側へころげ落ちることも再々あった。その後地主さんの許可を得ながらトレイルの除伐作業を進め、手造りの標識なども設置されるに至った。

町の要請もあり、「生き生きTUMA」協議会、当時の安全教育部会に加入。頂上付近の除間伐、視界を妨げる常緑高木などの伐採を行い、見晴らしが良くなると歓声をあげた。丸太の階段の設置、大きな案内板も「中池登山口」「八幡神社登山口」に設置され、現在最後のトレイル津万の稲荷さんより、東八日山四号古墳を経由し、東尾根頂上までの整備が完了間近となっている。生き生きTUMAの部会のメンバーの皆さんと共に今少し、古墳の周辺を整備し、「東八日山古墳」とあらしめるようにしたい。

地道な大変目立たない作業であるが、メンバーとしての一番楽しい苦労が吹っ飛ばす時がある。それは、子ども達と一緒に登山をする時である。校区内の小中学生・保育園児・幼稚園児と共に、植物の名札を付けながら名前を覚えたり、頂上から西脇の町並みを眺めたり、津万平野を眺め弁当を開く時である。

現在八日山には、私が確認している植物は48種類。その中には、リョウブ、クロモジ、アオダモ、タカノツメ、コシアブラなどめずらしい植物もある。草花では、キンラン、ショウジョウバカマなど。その他植生の調査、保存木、伐採木の区分。トレイル周辺の除間伐など、これからの整備作業は尽きない。是非皆さんの知恵と力をおかりしたいと思う。



キンラン

子どもたちも 頑張っています



—にしわきっ子じんけん教室—

皆さんは、「にしわきっ子じんけん教室」って知っていますか。

これは、西脇市教育委員会が行っている教室で、自分たちの住んでいる地域に「愛着」と「誇り」をもち、今よりもっと住みやすい地域をつかっていこうとする気持ちを強く持つていくために、様々な体験活動や色々な方との交流を通して学ぶ教室です。

内容としては、「障害のある方との交流(陶芸教室)」「「しばざくら荘」夏祭りのお手伝い」「異文化交流会(ペルー)」「震災について学ぼう」等々があります。

今回は5月30日(土曜日)の午前9時より、上野会館の横の田において、西脇中学校区の子も達を対象に「田植え体験」が開かれました。参加者は中学生5名、小学生7名のみなさん。募集によって集まってきた子ども達です。

人権教育室の柳川瀬さんや上野の高瀬さんより、説明や指導を受け、元気良く田植えに取り掛かりました。初めての児童もあり、泥の田に足を取られながら、それでも真剣に一生懸命に取り組む姿がそこに見ることができました。

先人達の知恵や苦労を感じ取り、植えた苗が成長し、収穫までの過程を見続けることにより、そこから生まれる喜びや、生命の大切さも学んでくれることでしょう。いつの間にか、田んぼの周りには保護者はじめ、何人かの地域の方々も来られ、温かく子ども達を見守る姿が印象的でした。

この活動には、聴覚障害のある方も参加されていて、田植えの後、手話による「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」の挨拶の仕方を教えてもらうことができました。

天神池に揚がる鯉

〈4月25日～5月9日〉



区長会の皆さんを中心に今年も鯉のぼりを揚げた。その揚げる準備の途中、あるご夫婦が、「これもよろしくお願いします。」と言われ、鯉のぼりを抱えてこられた。お孫さんも大きくなられたとのこと。他の鯉のぼりと並んで、大空高く揚がっていった。鯉達は、流れる風に腹を膨らませ、元気に舞いながら、みんなの幸せを願っているようにも思えた。

西林寺の“あじさいまつり”盛況に終わる 6月21日(日) この日1日の来場者約2,000名

あじさいまつりを迎える までを、振り返って



今日はあじさい園の草引きだ。津万地区の共有財産でもある自慢の庭だ。ボランティアで集まった人々は総数120名。いつも一人で管理されている方の行き渡った気配りと苦労を、ひしひしと感じながら、少しでもお手伝いできたらと思い、作業を進めていった。

人が集まるっていい気分。まして何かの役に立つてことは…。長い間ご無沙汰の方にも会えたり、初めて言葉を交わした方もいたし。やっぱり「繋がる心」だね。またお会いしましょう。

みんなに喜ばれるあじさいまつりになりますように。

(あじさい園開園に向けての草引きに参加した一人より)

また、あじさい園開園から閉園までの一か月間、トイレ掃除に交代で関わって下さった町選出のまちづくり委員の皆様はじめ、駐車場係及び各係の皆様本当にありがとうございました。



こんなに育ったあじさい 誇り高く咲いています!

この花を見るため遠くから 観光バスでやって来ました